

令和6年5月1日



園長 免出 智美

# おひさまだより

新緑の青葉にすがすがしさをを感じる時期になりました。園庭では、水あそび、泥んこあそびを楽しんだり、「虫、いるかなあ〜？」とプランターの下や草むらの中の虫を探したりと思い思いに夢中になって元気いっぱい遊んでいます。

入園、進級して1か月が過ぎ、新しい環境や気候の変化での疲れが出てくる頃でもあります。ご家庭でも健康には十分に留意していただくようお願いします。子どもたちの体調・ストレスなどご心配なことがありましたらいつでもご相談ください。

5月行事予定			
月	日	曜	行事予定
5	1	水	園庭開放
	2	木	子どもの日の集い
	11	土	保護者交流会（りす組）
	13	月	身体測定(乳児組)
	14	火	身体測定（幼児組） 内科健診(13：30～)
	16	木	全国一斉園庭開放
	25	土	保護者交流会（幼児組）
	28	火	交通安全教室（ひかり組）
	29	水	園庭開放
※変更の場合あり			
★お弁当の日：11日、25日			

## 園で目指す子どもの姿

「子どもの**主体性**を尊重し、自分で考える子どもを育む」

### ○自然の中でゆっくり育つ

自然の中で五感をフルに活用して実体験に、学ぶ時間を十分に保障する生活を大切にした保育活動をしていく。

### ○肯定的に導く

子どものありのままの姿を肯定的に認めていく。

### ○子どもの主体性を育む

子どもの気持ちが決まってから大人が援助していき子どもの自己決定を支えていく。

### ○危機意識

子ども自身が危険を察知して予知、回避する力をつけていくよう保育者が先回りして危険を全て取り除いていかないよう、失敗は最良の経験だと捉えて育ちを支えていく。

## なぜ、遊びが大切なのでしょう？

本来「遊び」と言うのは、子ども自身が主体的に何かに向き合うことです。誰かにさせられてするのではなく、子どもが「自らの意思でかかわってる。」ということに大きな意義があります。中でも乳幼児期の子どもは、身体感覚を通して物事を知るような学び方をするので、外で体を動かして遊ぶことをこの時期は充実させていくことが大切です。

## 「遊び」の中でどんなことを身につけているの？

友達など人との関わり方を始め、身体を動かすことの喜び、自然の尊さ、何かを創造する力、想像したり感じたりする心、物事に取り組む意欲など、実に様々なものを複合的に学びます。それらは、人間が生きていくうえでとても大切な力であり、人生を支える大切な基盤となるものです。好奇心を働かせて好きな遊びを楽しむ意欲や、より楽しもうと自ら工夫する力などが、結果的には学ぶ力に繋がります。この時期に大切なのはあらゆるものの基盤になる、目には見えない

「根っこの力」を培う最も有意義な経験は豊かな「遊び」の経験です。

【引用・参考文献】大豆生田啓友著「子育て悩み解決 100のメッセージ」



## ドキュメンテーションから抜粋（各クラス1枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気付く」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。

### どんぐり（0歳児）・たけのこ（1歳児）「命と出会う」

園庭に出るとまず虫探しが始まりました。土を掘り返してみると初めて見る幼虫の姿を発見。幼虫もダンゴムシも「優しくね。つぶれないようにね」の言葉を聞いて二本の指で優しく掴む姿が見られました。実際に触れる中で力を加減することや命の尊さに気づいていきます。



### りす（2歳児） 「ねんねしようね〜！」

言語能力が発達し始め、想像力の豊かさが増す時期です。お母さんになりきって赤ちゃんのお世話を楽しみ、赤ちゃんの為にベッドを作り、丁寧に布団の中に入れてあげていました。いつもの寝る時に自分がしてもらっていること（経験）を人形の世話を通して自分なりに表現しています。

### うさぎ（3歳児） 「広島駅に停まりたい」

線路と積み木を組み合わせるイメージを形にして表現しようします。友だちの遊びを見ていた子どもも友だちの遊びに刺激を受けると一緒に遊ぼうと声を掛けています。友だち関係が広がると、お互いが言葉でイメージを伝え合いより遊びが深まっています。



### そら（4歳児） 「水が多いんじゃない？」

壊れる理由を友だち同士で考え、試行錯誤しながら泥団子作りをしました。「水持ってくる!」「じゃあ土持って来るね!」と役割を決め、お互いの作った泥団子を見せ合い、丁度良い固さにしていきます。ものを比べて違いを見つけることで、判断力が身に付いていきます。

### ひかり（5歳児） 「おいしい野菜を食べるぞ〜!!」

畑で畝づくりの話をする時「とりのうんちくさいからいやだ〜」と言っていました。野菜を育てる栄養になるんだよ、という話を聞くと「頑張る!」と張り切っていました。疲れても”でも頑張ろう””少しお茶飲んで休憩してからもう一度!”とすぐに諦めるのではなく自分の気持ちを切り替えて、畝づくりをし気持ちの面でも少しずつ成長しているひかり組です。

